

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームむく

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 上村麻左美

評価完了日 平成20年6月7日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			昨年つくった理念で引き続き取り組んでいる。ミーティングの時には考える時間をもっている。		今後も皆で共に考える時間を定期的を持っていく。
			(外部評価)		
			事業所の理念やユニットの理念に沿って、地域の一員として「地域の方々と笑顔こぼれる助け合える関係づくり」を実現できるよう取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			新人スタッフには、個別に時間をもち理念や思いを伝えている。まずは、笑顔から始めていこうということを重点においている。現任スタッフは各自が具体的に計画をたてて取り組んでいるところである。		計画が達成できるように他者からのアドバイスや評価を皆で行っていく。
			(外部評価)		
			職員個々に理念の実践に向けての「マイプラン」を作成する等、理念を共有しながらケアを行えるよう取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			ご家族にはむくだより、地域には広報などを利用したり、最近では見学に来られた方などに対しても理念をお伝えするようにしている。		定期的に広報を作成し、理念や私たちの思いを盛り込みながら地域への理解を深めていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域性に配慮し、「昔ながらのお付き合い」を大切にいただいた野菜のお礼にお寿司やお菓子をお配りしたり、出会った時は世間話ができるような関係づくりに努めている。近くの子供たちも犬に会いに来てくれたりの姿もみられるようになってきている。		ひきつづき、スタッフの皆が気軽に立ち寄っていただける雰囲気づくりに努めていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の文化祭や体育祭の見学、夏祭りなど行かせてもらってはいるが、交流できているとは言い難い面もある。町内の秋祭りやお神輿、井出清掃などできる限りの参加はしている。クリスマス会では地元のごども会を招待し、皆でケーキ作りをしたり、歌を歌ったり過ごすことができている。 (外部評価) 事業所では、地域との「昔ながらのお付き合い」を大切にされており、近所の方からいただいたお野菜やお花のお礼に、手作りのお菓子等をお返しされている。又、地域の一人暮らしの高齢者の方を訪ね、季節の行事ごとにお寿司等をお配りしている。地域の方に事業所のことをさらに知っていただくために、広報紙「むく通信」を発行されたこともあり、近所の方が「むくさん」と親しみをこめて声をかけてくださる機会も多くなってきている。		地域に貢献できることを考えながら、できるかぎり参加や協力をしていきたい。 地域の方が、公民館で行われている俳句会への橋渡しをして下さり、俳句のお好きな利用者は創作に励んでおられる。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を中心に近況報告や実践報告をして皆で共に考え、意見交換できる場ができつつある。		スタッフからの日ごろの意見を大切に聞き、何かヒントになることがないかリーダーが常に意識をもっていく。
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全員で自己評価を行い、1年の振り返りの機会としている。改善計画に基づいて取り組んでいるが、毎日の業務に流され忘れがちになったりもしている。 (外部評価) すべての職員で自己評価に取り組み、ユニットごとに主任がまとめ、管理者が作成された。管理者は「地域との関係性や利用者の思いに沿えるような支援のあり方等、現状に甘んじることなく常に進化していきたい」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、改善計画を作成し、介護計画の内容の充実や地域に向けての広報の発行等に取り組まれた。		曖昧な計画ではなく、リーダーが3カ月に一回は振り返りをして、改善計画の評価や修正を行っていく。そしてスタッフにも継続的に意識がもてるようミーティングでは時間をもっていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 近況報告や実践報告などを中心になるべくわかりやすく報告しているが、感想などは聞けるが実際サービスの向上につながる意見というものは出にくい状況になっている。		一方的な報告では会議の主体性が図れず、様々なテーマから広げていかなければならない。今年度からテーマを持ち回りにして参加者がもっと主体的に考えてもらえる場づくりにしていく。
			(外部評価) 運営推進会議時、事業所の近況や行事報告等をされ、利用者ご本人、ご家族、民生委員の方等、出席者に感想をいただいている。地域の方が、近隣のとっておきのお出かけスポットを教えて下さり、利用者と職員で訪れたこともある。		事業所では、運営推進会議のさらなる充実を図るために、会議のテーマを出席者の持ち回りとし、それぞれの立場から出していただいた意見を、質の向上に活かして行きたいと考えておられる。次回の会議では、地域包括支援センターの方がテーマを提案される予定となっていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 管理者はできる限り研修に参加している。また、市が行う事業などには積極的に協力している。又、地域包括支援センターの職員とは運営推進会議や地区の連絡会、研修会などを通じて関係づくりに努めている。		
			包括支援センターの研修会に参加されている。法人の福祉事業部部長は、市が主催する認知症ケア研修の講師として協力されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 管理者やリーダーが地域包括支援センターにて行われた成年後見人制度に関する研修会に参加した。その時には必要性を相談させてもらったりしている。		以前事業所内での勉強会も行ったが、忘れがちになるので定期的に行っていく。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止のコンプライアンスルールを全員で作成したが、それを生かし切れていない。		自分たちで決めたルールが守られているかスタッフ間で他者評価をしていくことも考えていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な時間をとって説明している。契約時には事業所のケアに対する考え方や取り組みを説明している。解約の場合は、ご家族やご利用者の話をよく聞き、対応している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 時にはご利用者全員参加での「寄り合い」をしたり、個別の話し合いの中でご利用者の思いをくみとり、なるべく早い対応を心掛けている。スタッフ間でも解決にむけての話し合いの場を設けている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時には日々の暮らしぶりを報告し、遠方のご家族には手紙を書いたり、「むくだより」を送ったり、個々に合わせた対応をしている。また、異常や変化のあった場合は、その都度電話連絡し経緯や経過をお伝えしている。		
			(外部評価) 季節ごとに「むくだより」をご家族に送付し、事業所の取り組みや利用者の日々の様子、利用者ご本人がしたためられた文章や俳句等も紹介されている。遠方のご家族には、FAX等も利用し、近況報告をされる。		事業所内の共用空間に職員の写真と氏名を掲示されているが、管理者は、今後「むくだより」でも職員の紹介をしていきたいと話しておられた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会など通じて意見交換の場を設けている。が、個人的な話し合いの中からそれぞれもたれているご家族の思いを押し量ることしかできない。		ひき続き、個々のかかわりを大切にしていき、意見が言いやすい関係づくりに努めていく。
			(外部評価) 事業所では、「ご家族と助け合える関係づくり」を目指しておられ、ご家族の来訪時や年2回の家族会等の際に、意見や要望を出してもらえよう働きかけておられる。		管理者は、今後さらに、ご家族の思いや希望に耳を傾け、ご家族と事業所が支え合えるような関係性を深めていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回はミーティングを実施している。また、個別に年に数回の面談や、日常の会話や申し送りの中で意見を聞き相談し合ったりしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要に応じてリーダーを中心に対応している。また、変動があった時にもできる限り協力してくれている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 長く続けてもらうよう努力しているつもりだが、慣れないうちの離職者が多いのが現状である。		それぞれのスタッフに応じた指導方法を行い、お互いの関係づくりを大切にしていく。
			(外部評価) 管理者は、職員とのコミュニケーションを大切にされており、それぞれが抱える悩みを話し合ったり、共有できるよう努めておられる。		管理者は、今後もさらに、職員個々の得意なことを活かせるような、よりよい職場環境作りを目指していきたいと考えておられた。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内、外の研修、他グループホームへの研修など、できる限りスタッフのレベルに応じて参加できるようにしているが、まだまだシフト上積極的に参加できない時もある。		あらゆるスタッフが色々な研修などに参加できるようにシフトの調整、協力をしていく。
			(外部評価) 事業所では、法人内外の職員研修の受講を推進されている。月1回の法人内のケア向上委員会では、各事業所ユニットごとに、取り組みや問題点を発表し、意見交換等をされている。又、事業所でのミーティング時、外部研修の報告をされたり、感染症や栄養摂取、介護計画の立て方等について勉強会を行い、全職員で知識や情報を共有されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			運営者はグループホーム連絡協議会の事務局長をしており、幅広く活動を行っている。また、管理者をはじめスタッフが相互評価に参加したりしてネットワークが以前より広がってきている。		管理者だけでなく、他のスタッフも交流の場をもてるよう研修や勉強会の機会にはできる限り積極的に参加していけるようシフトの調整、協力をしていく。
			(外部評価)		
			法人内の系列の事業所が合同で開催される運動会等の行事の際に、職員は利用者とともに交流されている。地域の他事業所との研修会や相互評価等にも積極的に参加されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			年に数回の個別の面談や、個々のスタッフの性格を踏まえ対応はしているが、中にはうまくストレスを軽減できていないスタッフもいるかもしれない。		日頃の勤務態度や様子を見ながら、必要に応じフォローしていく。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			定期的に面談を行い、個々の気持ちを理解し、前向きに働けるように努めている。		状況をみてそれぞれスタッフに合った研修への参加も考えていく。
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			見学の際には、ご本人が落ち着いて気持ちが話せるような雰囲気作りに努め、よく話を聞き、理解するように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族の話を聞くことで困っていることや求めていることを知り、こちらの力になりたいと思っている気持ちを伝え、関係を築けるよう努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人やご家族の希望を聞き、グループホームに限定せず様々なサービスの選択肢を一緒に考えるように努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前にはご本人にはなるべく見学に来ていただき、ご利用者とお話したり、お部屋を見てもらったり、気持ちの不安が軽減できるよう努めている。また、入居の日はできる限りご家族も共に過ごしてもらえよう、いつでも泊まれるようフリールームを開放している。 (外部評価) 入居前にご本人を訪ねるようにされているが、難しい方には、ご家族にご自宅の様子分かるような写真を送っていただき、居室の環境作りに活かされた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 畑や花のこと、料理や掃除など一緒に行うことで、お互いに学んだり興味がわいたり、助け合う雰囲気作りは常に取り組んでいる。 (外部評価) 職員は、利用者がいつも「お帰り」と声をかけてくれることで心安らぎ、又、利用者が望郷の思いや病気への不安にしてくれているときは、ともに涙されることもある。料理方法等、利用者に生活の知恵を伝授していただくことも多い。		引き続き、教えてもらえるような様々な場面を見つけたいようスタッフには意識を働きかける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族参加の行事を計画し、共に過ごしている。また、ご本人の状態の変化については、お互いの意見を話し合ったり、協力をお願いしたりと本人中心においた関係づくりに努めている。		仕事をされているご家族が多く難しいところもあるが、決まった行事だけでなく、日常の中でも教えてもらったり、一緒に過ごせる工夫をしていく。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人やご家族、双方の気持ちや希望を聞き、面会の場所や雰囲気作りなど気を配っている。また、遠方のご家族にも気軽に泊まれるような環境と準備はしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 遠方のご家族との関係を保つために、電話や手紙を使い、定期的に連絡が取れるように支援している。お友達との関係もご家族に了解を得て気軽に会えるよう支援している。		いつもむくに来てもらうだけでなく、たまには出向いていく支援についても考えていきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) なるべくご利用者同士の会話を見守り、雰囲気をみて間に入ったり、関係が作れるように支援している。また、仲のよいご利用者同士が体調がすぐれずお部屋で過ごしている方がいる時など気にかけて訪ねていかれる場面も見られてきている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) お参りに行かせてもらったり、年賀状を送ったりしている。		感謝の気持ちを忘れずにお付き合いを継続していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中で、さりげなく思いや意向を聞いている。また、それをケアプランに反映するために、センター方式を活用し本人本位になるように努めている。		今に満足せずに、ご本人やご家族の意見をさらに引き出して一緒に考えることができるようなスタッフの育成をしていく。
			(外部評価) 利用者個々との会話の中で思いを引き出し、汲み取れるよう努めておられる。ご本人の誕生日には、魚釣りやお芝居観賞、思い出の場所への訪問等、一人ひとりの希望に添って支援されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) できる限りご本人やご家族から聞き取った情報は他のスタッフにも分かるように一か所に集めて把握するようにしている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録（個人記録やバイタルチェック表、申し送りノート）をみて振り返ったり、ケアプラン更新時にはセンター方式を活用して把握するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ご本人やご家族の意見をもとに、または思いを押し量りながら立案者がまとめていく。更新時にはカンファレンスを行い、他のスタッフの意見も聞き作成している。		ご家族の意見の聞き出しに工夫が必要と思われる。お任せにならないようなケアプランにしていくためにもしっかりとご家族との日ごからのコミュニケーションを図ることに重点をおいていく。
			(外部評価) ご本人の希望やご家族の思い、職員の気付き等を探り入れ、介護計画を作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			基本的に3か月ごとに見直しを行っている。また、変化のあった時や退院時には、随時新たに作成している。		
			(外部評価)		
			定期的な見直しと、状態変化に応じた随時の見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個人別記録や申し送りノートに記入し、共有できている。また、それぞれのご利用者に対しケアプランに沿った1wごとのケア目標を決め、毎日その結果や気づきなどを記録に残している。更新時には見直しがスムーズにできるようになっており、変化にも気づきやすい。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			買い物や外出、通院などの要望はきちんと聞き、スタッフが随時同行している。また、身体に異常がある時などは連携している訪問看護ステーションに連絡を取ったり、必要な介護用品、福祉用具なども相談しながら対応している。		
			(外部評価)		
			美容院の送り迎え等、ご本人やご家族の事情等を踏まえ、柔軟に対応できるよう支援されている。遠来のご家族が事業所内に設けられたフリールームに宿泊されることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 年2回の避難訓練には、管轄の消防署から来てもらい緊急時の処置の方法など指導してもらっている。		更に色々な社会資源を利用できるよう働きかけをしていく。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域包括支援センター主催の連絡会には必ず出席するようにしており、情報交換もかねた交流の場で他の関係事業者との関係づくりをすすめている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 研修会にはなるべく参加したり、地域運営推進会議には参加してもらって意見交換をしている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時にはかかりつけ医の希望を聞くようにしている。また、定期往診時には状態を細かく報告し、異変時にも主治医とご家族双方の意見を聞き、必要な時は話し合いを行い、対応している。 (外部評価) かかりつけ医を受診できるよう、ご家族の協力を得ながら細やかに支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医への定期的な状態報告の際には、身体のことだけでなく精神的变化も含め細かく伝えるようにしている。また、必要に応じて専門の医療機関への受診、相談も行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 契約している訪問看護ステーションから1wに1回健康チェックに来てもらい、相談や助言をしてもらっている。また、ご利用者の異変に対して24時間いつでも連絡が取れる体制ができています。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) こまめに入院先へ出向き、様子を聞くようにしている。また、退院前にはご家族や看護師も含め、カンファレンスをもち安心して退院できるよう努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居の際には説明をしていく中でご家族の考えを聞くようにしている。また、そうなった時には、ご家族とかかりつけ医や訪問看護ステーション等を交えて話し合う機会をもっている。		
			(外部評価) 入居時に、ご本人やご家族に重度化や終末期の事業所の対応について説明し、その後も体調変化等が見られた場合にはその都度、医師も交えて話し合われている。これまでもお二人の方が事業所で人生の終焉を迎えられた。職員は、ご家族がそばにいて、静かに最期の時間を過ごしていただけるよう心がけられた。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご利用者の変化や様子等、ファックスや電話を利用して日々こまめに相談、連絡を取っている。必要に応じ看護師の訪問回数を増やしてもらったり、都度スタッフに助言や指導をもらっている。		経験不足のスタッフが多いので日頃から今後予測されることなどの話し合いを重ねたり、医療従事者からの意見を皆に伝えていく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) なるべく今までの生活環境や過ごし方に近づけるよう情報を集め、細かく全スタッフに申し送り不安の軽減を図っていく。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>親しみやすく、丁寧な言葉づかいを心掛けている。個人情報情報はスタッフルームで取り扱い、部外者の立ち入りには十分注意を払っている。ファックスを使用する場合にも氏名を一文字消したりして注意している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者に「気持ちの良い笑顔で接する」ことを大切にされており、調査訪問時、利用者が柔和な表情で過ごしておられる様子がうかがえた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>急いで返事を求めず、ゆっくり関わり多くの中から選択が難しい時は、ある程度の選択肢を出すなどの工夫や決められない方には気持ちや希望を押し量りなどしてなるべくその方の力に応じて決定できる場面づくりに努めている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>今までの生活スタイルを大切にしながら、ご本人の希望を聞き支援している。お出かけが好きな方、散歩が好きな方、お話が好きな方など様々なので希望に添いながら刺激や気分転換への支援にも努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、読経やお茶湯、旧友とお出かけ等、利用者一人ひとりのこれまでの習慣を継続できるよう支援されている。調査訪問時、庭先の椅子に腰掛け、コーヒータムを楽しまれている方がうかがえた。</p>		<p>生活が長くなるとマンネリ化しがちになるので、常に客観的に見れる視点をスタッフに養ってもらえるよう定期的な見直しも必要である。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 馴染みの美容室へ行ったり、行けない方には出張してもらっている。また、外出時には特におしゃれに気を配れるよう余所行き服や、バック、化粧、マニキュアなどのおでかけが楽しくなるような支援に努めている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食材の買い物から、調理、味付け、盛り付け、配膳、下膳、食器洗い、片付けの食事に関する一連の流れをその方の力に応じて共に行っている。また、庭で採れた野菜やご近所からもらった野菜、近くの山で採ってきた山菜など、旬の食材を中心に季節を感じながら食べられるような食事に努めている。		
			(外部評価) 利用者と職員がおいしい食事を一緒に作り、ともに味わい、和やかに食卓を囲んでおられた。時には、事業所の菜園で利用者が丹精された季節の野菜や果物がテーブルに上ることもあり、昼食時、実りの時を迎えつつあるスイカの話で会話が弾んでいた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 朝食はパンとごはんを選んでもらったり、飲み物などもご本人の好みに合わせてできる限り選んでもらっている。また、買い物時には好きなおやつやパンなど買えるよう支援している。晩酌や煙草も好みに合わせて対応している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) バイタルチェック表にこまかく記入し、申し送っている中でスタッフはそれぞれのご利用者のパターンを把握し、随時声掛けや見守りを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は は取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	(自己評価) お声をかけて、できる限り入りたい時に入れるように支援しているが、今まで夕方に入っていた方がご利用者同士の会話で本当は早く入るほうが良かったなどスタッフには気を使い本音を言えなかった方もいた。希望やタイミングには常にスタッフ間でも決めつけないよう注意している。		希望が変わることもあるのでその都度ご利用者の表情や言葉、ご利用者との会話などに配慮できるようスタッフに徹底していく。
			(外部評価) 浴室や湯の温度調節に留意し、入浴を支援されており、入浴剤等、香りにも気を配っておられる。又、足湯の際には、足裏マッサージができるようにピー玉を敷く等、工夫されている。月に1回は、利用者と職員で温泉に出かけ、楽しんでいる。入浴を拒まれる方の立場に立って、職員自らがシャワーや熱気を体験し、よりよい入浴支援のあり方に取り組みされた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	(自己評価) 自分の布団だけでなく、時には休むのが不安な方には皆の中でも安心して休めるようソファやフリールームを活用したりしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をして いる	(自己評価) 犬の世話や得意な家事、畑、花壇の手入れ、裁縫など お一人お一人の特性や好みをみながら、それぞれに生 活の中でちょっとした役割がもてるように支援してい る。		まだまだ隠された力があるということスタッフを意識をもち、決めつけない関わりや工夫をしていきたい。そのためにも、ケアプラン更新時にはアセスメントをしっかりと行っていくことを徹底する。
			(外部評価) 事業所では、利用者ひとり一人の「意欲」を支援でき るよう取り組まれており、料理、縫い物、野菜作り、 俳句等、利用者それぞれに役割や張り合いが見出せる よう支援されている。調査訪問時、職員と一緒に利用 者の方がお茶を接待して下さった。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	(自己評価) 希望に応じてご自分で財布(おこずかい)を持っている方もいる。声をかけたり、見守りの中にもなるべく自由に買い物出来るような環境作りに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日にお聞きすることもあれば、日常の会話の中でさりげなく聞きだしたり、言えない方や決められない方には選択肢をあげたり、こちらから提案したりもしている。		スタッフが聞きだす力を養い、実行にできることが大切なので、もう少し個別性を生かした支援ができるようにスタッフに働きかけていく。
			(外部評価)		
			事業所の玄関には、利用者が庭の草取りや散歩にいつでも出かけられるよう、色とりどりの帽子が掛けられていた。調査訪問時には、車でスモモ狩りに出かけておられた。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			お花見や運動会、夏祭りなど外出先でもご家族と共に過ごせる機会を作っている。誕生日には個別にお芝居を見に行ったりふる里に帰ってみたり、ご家族と買い物に行ったりドライブに行ったりの時間も大切にしている。		日常の外出はもちろんだが、もっと個性を生かした外出支援の取り組みも引き続き行っていきたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			年賀状や季節の手紙を書いたり、電話をこちらから気軽にかけられるようお声をかけたりと、遠慮して言えないのではと常に考え支援している。		ご家族との良好な関係が継続できるよう支援し、タイミングを外さず行えるよう配慮していく。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族への接し方については、十分配慮し気持ちよく過ごしてもらえるように邪魔にならない程度にタイミングをみてコミュニケーションを図っている。		全スタッフが配慮できているとは言い難いので、マネーの面でも入社時等に指導していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日常のケアの中でも意識をしており、スタッフお互いが確認し実践できている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は基本的に必要最低限の施錠をしているのみである。(夜22時～朝6時ごろまで)このことはスタッフも理解できている。 (外部評価) 玄関は施錠されておらず、利用者が自由に出入りして過ごせるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は、スタッフ間で声を掛け合って安全に留意し、見守りを行っている。また、夜間はそのご利用者の状態に合わせ、30分から1時間ごとの巡回をしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 入居時には持ってきた物品の確認を行い、ナイフやハサミ、爪切りなどはご家族と相談し居室におくようにしている。また、その後の管理には十分に注意し見守っている。		入居時だけでなく、その時その時のご利用者の精神状態にも考慮し、管理の徹底を図っていく。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 様々な事故の予測は日ごろからスタッフに注意を促している。服薬ミスにおいては、何重にもチェック、確認し、間違いの起きないように取り組んでいる。年に2回の防災訓練を行い、日頃からの防災意識も高めている。		緊急時マニュアルは作成しているが、繰り返し復習していないので、いざという時には慌ててしまう可能性がある。定期的に勉強会などを開きスタッフ主体となって緊張感を持って取り組んでいく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 防災訓練時には消防署から応急処置の講習をもらったり、町内での講習にも参加している。		全員が対応できるように参加したスタッフから事業所内で勉強会を行い誰もが対応できるようにしていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議にはお声をかけたり、日頃から地域の方との顔なじみの関係が保てるよう働きかけている。 (外部評価) 年に2回、火災を想定した避難訓練を実施されている。地域の防災訓練に、職員も参加された。職員は、日頃からガスの消し忘れや、喫煙される利用者の火の始末等に気を付けておられる。		地域の方々には具体的に防災協力協定などの話もすすめていく。 管理者は、今後、運営会議開催時に避難訓練を実施し、地域の方や利用者のご家族等にも参加いただけるよう、働きかけたいと考えておられた。さらに今後も、いざという時に、すべての利用者が安全に避難できるよう、地震等いろいろな災害や場面を想定した訓練も重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時には転倒のリスクがあるグループホームでの暮らしについては説明している。また、状態が変わるごとに、必要に応じてご家族に主治医からも今後予測されることも含め、説明してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々バイタルチェック表をつけているが、それだけに頼ることなく小さな変化も申し送りノートに記入し、情報を共有している。その中でリーダーが判断し、医師や看護師に報告、相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) スタッフそれぞれが往診毎に医療ファイルに目を通しサインし、確認するようにしている。処方箋ファイルもスタッフルームに保管し、いつでも見れるようにしている。また、ミーティングで薬に対する重要性、支援のあり方について繰り返し、話し合いを行っている。		スタッフの入れ替わりもあるので、特に新人スタッフには時間をかけて説明し、理解できるよう徹底していく。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 薬に頼るだけでなく、食事の栄養面や運動など多方面からの工夫を心掛けている。(体操への取り組み、寒天の日常の利用、野菜を中心とした食物繊維の多い食材の利用、水分補給の留意など)		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食事声掛け、個々に応じた支援をしている。歯の状態の変化にも気をつけ必要時には歯科受診の支援もしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) バイタルチェック表で個々の食事や水分量を把握している。食事が減ってきた方にはさらに詳しく記入し、分かりやすくしている。個々の好み、盛り付け量、お皿の大きさ、食べたいと思える盛り付けの工夫など様々な側面からの支援をスタッフと話し合いながら行っている。 (外部評価) デザートやおやつに、寒天を日常的に採り入れ、水分確保や整腸に努めておられる。食が進まない方には、栄養補助食品等でも補えるようにされている。事業所の庭に実った梅を使って、梅干しや梅ジュースを作っておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し、毎年の時期に合わせて対応している。看護師や医師から教えてもらったりもしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者、スタッフ共に調理前の手洗いの徹底をしている。夜間に調理器具、ふきん等の消毒を行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>庭には、畑や花壇を作り椅子やテーブルをおいて会話を楽しみながらくつろげるような雰囲気づくりに努めている。玄関も違和感のないよう開放的で出入りしやすいようにしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の飾りや花を生けたりして、自然で殺風景にならないように工夫している。スタッフ同士の声の掛け合いもご利用者の耳障りにならないよう日頃から注意を促している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関前には、利用者がお世話している犬を飼っておられた。共用空間には、手作りのカレンダーや利用者の作品、観葉植物等が飾られ、季節の花が活けられていた。居間のベランダ越しに眺められる自然の風景に、四季の移ろいを感じることができる。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>限られたフロアを有効活用するために、テラスや2階ロビーなどにも椅子をおき様々な場所になるべく自由に行って過ごせるように努めている。</p>		<p>場所的にフロアから遠いこともありフリールームの活用が成されていないので、ご利用者と共に活用していく機会を考えていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時には馴染みの物を持ってきてもらい、なるべく違和感の生じないよう安心して過ごしてもらえるよう心掛けている。		
			(外部評価)		
			居室には、テレビや仏壇、タンスやお化粧道具等が置かれ、CDの映画音楽に聴き入っておられる方もうかがえた。誕生日の寄せ書きや、職員が描いたご本人の似顔絵等も貼られていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気には常に留意している。冬場は乾燥しないように、フロアには加湿器をおいて調整している。居室には、状態に合わせて加湿器や濡れタオル、温・湿度計を設置し調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			車椅子での移動の方が多いので、なるべくテーブルを寄せて自由に行きたい所に行けるように配慮している。ぶつかりそうになる時も多いのでスタッフは常に注意して見守っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			ケアプランでのアセスメントをしっかりと個々の力の理解と把握をし、ケアに生かしている。以前はトイレの札を掲げていたが、今は取り外しても混乱なく自分で行かれている。		定期的に見直し、スタッフ間の意識のズレや決め付けはしないよう心掛けていく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダではご家族からいただいた花や植物をおいて皆で枯らさないよう水やりや陽に当てるなど協力して育てている。時にはご利用者同士お灸をすえられたりもしている。庭へは日常的に下りて花や野菜の成長を楽しみに育てている。犬との触れ合い、癒しの場にもなっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②に利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常の会話の中で意識をもてるスタッフも増えてきている。また、ケアプランの計画時ご本人の意見や思いを聞けるように努めている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	ティタイムや散歩の休憩、居室で過ごされている時、寝る前などそれぞれでなるべくゆっくり共に過ごせるように努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	回りの方の動きをみて落ち着かなかったり、どう過ごしていいのかわからない方もいるのでスタッフがリードしている場面もある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご利用者の好み、今までの生活歴を知り活かせることで笑顔、表情が明るくなることもある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外に出ることが好きな方もいるので散歩や花を見に自然の中へ出かけたり、買い物や催しのあるところなどなるべく希望を聞いて出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ②に利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的なかかりつけ医の往診や看護師の健康チェックなどにより不安を言える方は言えているのでは。薬がたくさんある方が安心感がでるご利用者もいる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	以前より細かな変化に気づけるスタッフも増えてきており、スタッフ同士で伝え合い話し合いの中なるべく早い対応を心掛けている。(美容室や買い物など)
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ③家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	ご利用者を含めて会話したりして良い関係が保てているご家族もいれば、面会が少なく会う機会自体がなかなか持てないご家族もいる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	ご近所の方が来てくれてお話したり、俳句を作ってくれたりしてくれる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ③ ④	会議に限らず日々の活動(散歩や畑の手入れなど)をみていただいている中でお声をかけていただくことが少しずつ増えてきていると実感できる。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ③ ④	スタッフの人員不足もあり、ご利用者へしわ寄せがいかないように努めている分疲れを抱えているスタッフもいるのでは。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ④	表情や言葉でむくに来てから明るくなった方も多くいるが、本音のところはわからない。さらに・・・という考えを持ち続けたいと思っている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ ④	「よくしてもらって・・・」と言って下さるご家族が多く、またその分私たちのケアは限りなく追及していかなければならないと思っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

まずはこの環境を生かした取り組みとして、ちょっと外にでるだけで味わうことのできる開放感、自然の生きるエネルギーを感じられること、四季折々で採れる山菜や畑でとれた野菜の成長や収穫の喜び、散歩の途中で出会う人々の笑顔、野花や桜、若葉、深緑、紅葉をみて自然の美しさを感じることができ、・・・できるだけ多くの「感じること」ができるようむくの中で過ごしっぱなしにならないよう散歩からお出かけまで毎日のように楽しめる工夫をしています。また、地域密着型サービスとして介護理念にもあるように、地域の方々やご家族との助け合える関係づくりに努めています。特にここ「むく」は地域性もあり「昔ながらの日ごろのお付き合い」を大切に考えています。それは、ご近所の方から頂いた旬の野菜や花のお礼も込めて季節の行事ごとには皆で作ったお菓子やお寿司などをお配りさせてもらったりしています。散歩で出会う方々とも笑顔でのあいさつから始まり、世間話をする中で馴染みの関係づくりに努めています。集団としての生活が基盤ではある中で、さらに個別性にも配慮し、毎日どこかに出かけた方、みんなと一緒に安心な方、静かなのんびりした空間が好きな方、ボーっとするのが苦手な方・・・18人様々な過ごし方ができるよう何をその方が求めているか、望まれているかという声に出せない方への気持ちにもなり考えるようにしています。同じグループ内で発足しているケア向上委員会では、各ユニットからご利用者の生活の質、スタッフのケアの在り方など様々な具体的テーマを取り上げ取り組んでいます。むくでは今まで足浴や身体や頭を使う体操を始め、あるご利用者をモデルに思いに近づけるケアの追及などに取り組んでいます。食事についても力を入れており、カロリーや塩分をはじめ、その方がおいしく食べられるような盛り付けや声掛けに工夫したり、寒天を日常的に取り入れ水分のすすまない方への取り組みなどしています。これからも笑いあり、涙あり、時には白熱しながらの日々の暮らしの中で、自分たちのしているケアに満足せず、常にご利用者の思いを中心に考えることができるグループホームにしていきたいと思っています。ぜひ、一度遊びにいらして下さい。